

中学校名	市	主な入試の変更点と予測
浦和明の星	さいたま市	入試の変更点はなし。模試の希望者数は、比較的学力が上位の受験者層は1回がやや減少気味、中堅の学力層では減少。やや敬遠ムードが出ているよう。1回は都内御三家との併願受験生が多く、少々応募者が減っても入りやすくなることは期待できない。2月の2回は例年高倍率で、少なくとも2016年入試並みの難度と考えた方がよい。
淑徳与野	さいたま市	入試の変更点はなし。模試の希望者数は、比較的学力が上位の受験者層は1回が増加、中堅の学力層では2015年並み。1回は併願受験生が多いので、目立って難化することはなさそう。2月の2回は例年高倍率で、少なくとも2016年入試並みの難度と考えた方がよい。
大妻嵐山	比企郡嵐山町	スーパーアドバンス入試を取りやめ、進学クラス入試をORまなび力入試に変更、1月10日午後ORみらい力入試として総合記述型を実施、10日午後一般入試を11日午前に移し、12・15日の一般入試も取りやめるなど、大きな変更を行う。奨学生入試は12日に移動して存続するが、全体に学力上位生を迎えようとする姿勢から、伸びしろの十分な受験生を早い入試日程で迎えようという考え方に変更。模試では、希望者が増えている回次もあるが、入試回数を減らしているため人気上昇とは言いにくい面もある。各回とも難化することはないと思われる。